

令和6年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

保谷中学校 第2学年

西東京ふるさと探究学習

単元名： 職場体験学習
(活動名)

ねらい：

- (1) 事業所、店舗など実社会で働くことで、勤労の意義や尊さを知るとともに正しい職業観を培う。
- (2) 社会の一員としての社会性を養い、礼儀を身につける。
- (3) 今後の自分の進路について考える機会とする。

【職場体験先 事前学習】

自身のふるさと西東京市にある仕事を知り、それらの事業所に関して調べながら、働くとはどういうことなのか、事前訪問の際のマナー、電話のかけ方といった、働くための力を身につけました。



【当日】

地域で働く方のお話をよく伺いながら、西東京市ではどのような仕事があるのか、また、事業所と地域がどのように関わっているのかを肌で感じる事が出来ました。

【生徒が自ら考えて、職場体験先にインタビューを考えました！
地域の愛着と職業について深く学びました。】

- ・中学生の時にやっておくと良いことはありますか？
→失敗しても良いのでなんでも挑戦してみてください。
- ・なぜこの仕事を選んだのですか？（公民館）
→市民との距離が近く、市民の笑顔を見ることができる。
- ・患者さんと接するときのコツはありますか？（病院）
→耳が聞こえにくい人には大きな声で耳元で話したりするなど一人一人の目線になって話すことが大切です。
- ・子ども同士の喧嘩を止めるコツはありますか？
(保育園)
→喧嘩の理由を聞いて、両方の立場になって話を聞く。
- ・一番大変な駅はどこですか？（西武鉄道）
→池袋や新宿と思われがちですが、実は石神井公園や大泉学園周辺が大変です。

【事後学習 パンフレット作成と鑑賞】

体験先の概要や特徴、学んだことをまとめ、パンフレットを作成しました。

パンフレットの作成や鑑賞を通して、働くことの大変さや、やりがいを深く感じる事が出来ました。



まとめ

自分の気になること、調べたいことをテーマに設定してよいということで、どの生徒も主体的に学習に取り組んでいました。学習を通じて西東京のことについて詳しくなり、地域への愛着が深まるとともに、「自分の住む街を今後どのような街にしていきたいか」という、地域社会に参画する態度や社会の形成者としての自覚も芽生えたようでした。